

会員団体紹介

本協会の会員団体を紹介します。

以下は各団体の自己紹介です。

各団体の代表者は、会長、理事長、師匠等、いろいろに呼ばれていますが、ここでは「代表」に統一させていただきました。

団体都合により掲載されていない場合もあります。

会員一覧は72ページにあります。

団 体 名	ページ	団 体 名	ページ
東村山市盆栽愛好会	13	越中おわら風の華東村山社中	24
東村山市吟詠連盟	13	東村山市福寿学苑会	25
東村山郷土研究会	14	人形百花会	26
東村山短歌会	14	菊の会 東村山グループ	26
東村山市茶道華道睦会	15	しなの木会	27
東村山お琴クラブ	15	東村山市写真連盟	27
東村山市民謡連盟	16	東村山香を楽しむ会	28
東村山写真クラブ	17	鮭っ子とトトロの会	28
文化刺繍すみれ会	17	グランジュテ舞踊研究所	29
東村山市合唱連盟	18	合唱団グリーンリーヴズ	29
東村山青年会議所	19	ハーモニーメイツひまわり	30
東村山市書道連盟	19	エベレスト合唱団	30
東村山市歌謡カラオケ連盟	20	楽描きクラブ	31
東村山邦楽友の会	21	アロハ・フラ・アーヌエヌエ	31
胡桜舞踊会	21	アルジーロ	32
サクマミサコフラグループ	22	Kダンススタジオ	32
勝味うどん研究会	22	張良二胡楽団	33
東村山交響楽団	23	白 芽 会	33
勝 雲 会	23	有山光子東村山ハワイアンフラグループ	34
東村山製本研究会	24	東村山昔話保存会	34

東村山市盆栽愛好会

代表 小山 孝作

東村山市盆栽愛好会は、戦後間もなく盆栽の好きな方々が集まり、昭和 25 年頃に発足し市民行事に出展し、皆さんに親しまれて来ました。

昭和 53 年に東村山市文化連盟が発足すると同時に加入し、春秋の文化のつどいと市民文化祭に展示して、市民の皆さんに好評をいただいています。

歳を重ねて会員数も減少しましたが、自分の盆栽を少しでも多くの方々に見て頂くためにも、会員一同喜びを持って管理しています。



東村山市美住町 2-11-2

小山孝作 ☎042-391-4143

東村山市吟詠連盟

代表 金子 吼邦

東村山市吟詠連盟は、東村山市内に在住する吟詠団体及び同市内に詩吟教室を有する団体をもって組織されています。昭和 47 年 8 月 27 日に創立し今年で 46 年目になります。平成 24 年 10 月には、創立 40 周年記念祝賀会を東村山市長はじめ市議会、吟界の諸先生方のご臨席を賜り、盛大に行いました。吟詠連盟は当初 10 流派あり、その中に会や支部があつて 300 人以上の会員を有していました。最近では、6 流派と少なくなり、会員数も 100 人以下と少なくなりました。年間行事としては、秋に開催されます東村山市民文化祭ホール部門に毎年参加し



ています。流派を超えて日頃修練された吟を舞台上で発表し、市民吟詠大会を皆で協力し合つて開催しています。終了後は懇親会を行い楽しんでいきます。その他、新年会、総会、納涼会、吟行会などを行い会員相互の親睦を深めています。また市議会議場ミニミニコンサートにも何度か出演し、東村山八景や書道吟などを発表して楽しんでいただきました。

(写真は市議会ミニミニコンサート参加)

東村山郷土研究会

代表 大井 芳文

東村山郷土研究会は、昭和 45（1970）年に発足して 48 年目を迎える。目的は会則にある通り「東村山及びその周辺地域の歴史、地理、民俗等を相互に研究し合い認識を深め市民性を高めることを目的とし、これらの活動を通して郷土に貢献する。」である。現在 96 人の会員がいる。

現在は「東村山の古道」についての研究を行っている。「文化のつどい」「市民文化祭」での研究発表や年 2 回の講演会、東村山市を中心とするイベント「菖蒲祭」や「地蔵祭」「産業祭」等で東村山の寺社の説明案内を行っている。

本会が長年かけて研究したものを本と



し、「東村山とそのいわれ」「東村山の四方山話」「東村山の昔語り」「東村山のことば」「東村山の川と水」等を出版している。

郷土に生まれ育った会員と他地区から縁あってこの地に住み、郷土の歴史と良さを学ぶ会員が交流し学び合う姿はいいものである。会員募集しています。

★連絡先 大井 TEL391-9408

写真は清瀬郷土研の方を正福寺地蔵堂に案内する東村山郷土研

東村山短歌会

代表 出田 邦博

東村山短歌会は昭和 50 年に同好者で発足し現在会員は 30 名ほどです。

毎月 1 度（日曜日）月例歌会を開催し、出詠された作品に互いの批評を交わして上達を目指しております。

東村山短歌会同人誌として今年で 42 号となる年刊歌集・『たま湖』を発行します。

又、秋には吟行旅行を催し、詠まれた歌を思い出に「吟行歌集」として刊行しています。



文化のつどいに出展「色紙短冊展」

❀ 会員募集中 ❀

興味をお持ちの方は「見学」されませんか？ お待ちしております。

東村山市茶道華道睦会

代表 中村 久子

睦会は、茶道と華道を通じて市民の皆さんと親睦を図る目的で昭和 47 年 4 月に発足しました。日本の伝統文化、茶道と華道を守り継承できます様会員一同努力しています。本年で第 45 回になります東村山市民文化祭は、第 1 回より第 44



回まで欠かさず、睦会は参加させていただきました。お茶席で皆さんに美味しいお茶を、



華道では各流派のいけ花を見ていただきまして、楽しんでいただきました。

その他に、茶道は現在年 2 回ですが、市議会初日にお抹茶の接待を、又菖蒲まつりでお茶席を設け、花菖蒲とお抹茶でゆっくりしていただいています。華道の方は、中央公民館 2 階に昭和 57 年よりいけ花を展示させていただいています。

茶道・華道を皆さん一度体験なさいませんか。気持ちが落ち着きます。又奥が深く一生勉強と思っています。

東村山お琴クラブ

代表 山手 則子



東村山お琴クラブは、5 月には市の三曲協会の定期演奏会に参加、6 月には菖蒲まつりに参加し、また老人ホームのボランティアや新酒のオープニング等いろいろな場面で活躍しています。文化協会の文化のつどい等は、多くの団体が参加

していますのでちょっと遠慮です。

文化協会には、第 2 代の天野会長から第 3 代村上会長の頃ずっと在籍し、秋の一日研修にも参加していましたが、近年は休みがちでご無礼しています。いずれ賑々しく参加したいと思っています。



東村山市民謡連盟

代表 田中 孝丞

昭和 48 年、東村山市市制施行 10 周年を祝い、教育委員会 社会教育課の肝いりで、各種団体に呼びかけ市民文化祭を設立された、と聞きます。

当時、久米川駅北側の「民謡酒場おけさ」で司会などをしていた小宮三平氏が、市内民謡指導者のお稽古場を積極的に呼びかけ、第 1 回文化祭の民謡大会に 4 会派で参加し、翌 50 年には、舞踊 1 会派を含む 8 会派で民謡連盟が誕生しました。

10 周年には、15 支部 450 余名の会員と大きく発展し、創立以来秋は文化祭、春は民謡舞踊まつりを大事業として、ファンの皆様に楽しんで頂きました。

時の流れで、20 周年頃から民謡人口が減少したのを契機に、小学校のご協力を頂き文化庁の「伝統文化子ども教室」に応募し、満期の 5 年間、民謡や三味線に興味のある子ども達のクラブ活動のお手伝いをし、今日まで 160 余名の体験者を送り出しました。

この間、定例のお稽古日のほかに、



お正月 新春ふれあい祭り

2 月・ 全生園のにぎやかコンサート

4 月・ みどりの祭典 富士見中央公園

5 月・ 民連大会・三多摩コンクール
文化のつどい体験コーナー

11 月 市民文化祭・産業まつり

等に参加し、子どもたちから若さを貰い、子どもたちも小学校、中学校、高校、大学、社会人と成長し、和 문화に触れたことが、長い人生の将来にお役に立つことを信じ、また、願い頑張っています。

ご指導くださる先生も子どもたちの覚えの速さに楽しみを託し、難しい指先の”はじき”の曲や三味線曲でない曲の譜面を起こし、個別の指導も行っています。



近年は、春の大会を盛り上げるために近在の舞踊の指導者や生徒さんに声をかけ、舞台に花を添えて頂き耳と目で楽しんで頂き、お陰様で観客と舞台出演者が共に満足感、達成感を味わっています。

皆様からお力を頂き、もう少し文化の発展に寄与して行きたいと考えています。



庶民の生活から生まれた民謡の伝承に、会主先生はじめ関係者の皆様にお力添えを頂き、伝統文化の光り輝く東村山市を目指します。今後とも一層のご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

東村山写真クラブ

代表 唐澤 四郎

東村山写真クラブは昭和 55 年に写真を愛する市民で発足し、「写真を愛する地域住民として友好と写真技術の向上に努め、四季の自然や日常生活を写真に記録することを通して、市の発展と文化の向上を図ること」を目的としております。これらの目的を達成するために、月例会、撮影会、写真講座を定期的に開催し、年々減少する自然環境や日々変化する市民生活等を記録し後世に残すため写真展を開催し写真集を発行しています。クラブ活動として年 2 回中央公民館で写真展を開催し、写真技術の向上のため、写真家を講師に招聘し写真講座を開催、また月例



会でもミニ写真講座を常時行っています。現在の会員数は 31 名で、中央公民館を拠点とし毎月第二土曜日に月例会を、隔月に撮影会を開催などの活動をしています。写真は三度楽しめます。「出かける前に撮影地をめぐらす楽しみ」「素敵な被写体に出会える楽しみ」「作品の出来映えを見て展示する楽しみ」三度楽しんでいきます。写真に興味ある方歓迎です。

文化刺繍すみれ会

代表 佐藤スミ子

文化刺繍すみれ会は、昭和 56 年に萩山公民館で刺繍教室を始めました。当初生徒は 10 名くらいでスタートしました。通算すると 170 名位の生徒がおります。

現在は、富士見文化センターで月 2 回土曜日に、楽しみながら刺繍の制作活動をしています。

文化刺繍はリリアンをほどこき 1 本の針で花や動物、風景などを一針一針さし進めて作品を仕上げていきます。

出来上がった時の嬉しさ喜びはひとしおです。



作品は春の「市民文化のつどい」で中央公民館、秋の「市民文化祭」では富士見文化センターで展示発表しています。楽しい教室です。ぜひ参加してください。

東村山市合唱連盟

代表 村田 駿一

東村山市合唱連盟は、昭和 55 年に東村山市内の合唱団 8 団体が集まって発足しました。発足以来平成 26 年 3 月まで、故村上俊三氏が代表を務めました。平成 26 年 4 月より遠藤久子が代表となり、慎重に会則の審議をして改正がなされました。それにより「役員任期は 4 年まで」となりましたので、平成 30 年 4 月より村田駿一氏が代表となりました。

本連盟は、目的を「市内の合唱団の親睦と交流を図り、合唱文化の向上を目的とする」としており、事業は「東村山市の文化事業への参画」他となっております。

現在、加盟団体は 15 団体で、加盟されていない合唱団へもお誘いをしておりますが、「市民文化のつどい」や「市民文化祭」への参加の際、連盟では 1 団体 10 分なのが、ネックのようです。加盟をお誘いしても「自分たちの団体だけで参加すれば、20 分～30 分出演できますからね」とのお答えです。本連盟としては「散らばらずに揃って歌い、聴き合うところに向上が生まれる」と思って、この形を採り続けています。

平成 26 年からの 4 年間には「もっとワクワクしよう！」との声が起こり、二つ

の試みをしました。一つは「合唱講座」です。加盟団体の指揮者をお願いして 5 回の講座を持つことができました。「小さな木の実」「大地讃頌」「ドナノービスパーチェン」「ふるさと」「夢をあきらめないで」をそれぞれの先生がご指導くださいました。二つめは、昨年の「市民文化のつどい」の一環としての「合唱祭」をおこなった際、出演団体の全てに「東村山市合唱連盟 2017 年限定企画 GOOD 賞」を進呈したことです。加盟団体から 7 名の審査員が出て、「笑顔」「選曲」「ファイト」「衣装」「エレガンス」のいずれかの賞をさし上げました。楽しい試みでした。

これからも本連盟は「合唱の素晴らしさ」を追求していきたいです。

(前代表 遠藤久子 記)

写真は「東村山市民合唱団」



東村山青年会議所

代表 竹内 隼人

東村山青年会議所は 1973 年に設立して以来、地域の皆さまや関係諸団体との強い繋がりと絆を深めてきており、今年 45 周年を迎えます。

2018 年度に行う運動は、恒例の「わんぱく相撲東村山場所」の他に、今年は「防災」をテーマに 45 周年記念事業を行います。

有事に備え、日頃より地域の皆さまや市内在住中学生在学の中高大学生との連絡調整、協働体制を構築していくために、10 月 13 日（土）14 日（日）に、東村山市立第一中学校のご協力のもと、「避難所施設体験事業」を一泊二日で行います。

参加した子どもたちが有事の際に率先して行動できる



ようになるよう、自助と共助が調和した「人財育成」に繋げていきます。

本年度は「共存共栄～勇気と情熱を胸に挑戦しよう～」のスローガンのもと、地域のために、子どもたちのために運動を展開します。この東村山で多様な思いをこの地域に広めていきましょう。

共に活動を行う同士よりご連絡、仲間のご紹介をお待ちしています。

東村山市書道連盟

代表 蓮井 圭子

当会は昭和 54 年 1 月にそれぞれ書道の会に所属する代表会員の集まりにより発足され現在に至っております。

当時は年間の行事として 1 月に書初展（学生、一般）、6 月には会員と一般による書作展、8 月には学生を中心とした書道展を開催し、来賓の方々に出席頂き表彰式を執り行い多数の皆様に見て頂きました。又 8 月に伝統文化こども教室を 2 年間行い多数の小学生を受け入れました。

なお作品発表の場として市民文化祭、文化のつどい、市議会ロビーと出展して参りました。最近では会員の減少により市



の行事に参加するのみとなっております。

現在は若い方の入会もあり活発な活動を期待しております。伝統文化を守りながら会員一同生涯学習の精神で活動を続けて参ります。

なお、書をなさっている方への入会をお待ち致しております。

東村山市歌謡カラオケ連盟

代表 森 芳子

カラオケって色んな顔を持っていると思いませんか・・・高齢者など不幸にして体調を崩した時は音楽療法ナツメロ等リハビリとして大変大変効用があると聞いています。又、家族や親戚の集まり、町内会、趣味の集まり、同級会、クラス会、職場の仲間、カラオケ同好会、又、カラオケを名目に集まり5時間6時間楽しく同じ時間共有して雑談していると思えば、ナツメロ専門の仲間、新曲、新曲と追っている仲間、でも、テープや、CDまで買ったり習ってまではネー、何てダビング専門のカラオケファンもいると思えば、少しでも上手く唄いたい、なかには、一曲でも良い、しっかり唄ってみたい、また、気分転換に最高。

ある多くのお年寄りの方が云っています。若い時は色んな事に興味持ち月謝まで払って色んな事を習っていましたが、今出来る事は、そして残った物はカラオケだけ。

話はちょっと逸れますが、民謡などは一曲に生涯を賭けて全国大会に出場する方もいると聞いています。ビクターでも全国大会では同じ曲に4年5年は唄い込むのはアマチュアなら当たり前と一流の先生は云っています。

多くの方は兎に角皆んなに聞いて欲しい。だからあの曲にしようか、この曲は余り唄ってないから等・・・私に合ってるかしら選曲に悩みます。習ってい

る習っていない、上手下手と言われたら唄い難くなります。

皆んなは一人の為に、ひとりは皆んなの為に、あの人が一生懸命唄っているのだから心を込めて暖かい大きな拍手を送りたいものです。

唄うことの楽しさ、歌のある人生、音楽との触れ合いを通じ、より積極的により豊かな思い遣りのある、健康的な人間関係を、同じ時間を共有して楽しみたいものです。其処でカラオケが気付かせて呉れるものがあります。高がカラオケ、然れどカラオケです。

老若男女すべての人々が其の自分達の「都合」に合わせて楽しむ事が出来ます。だからカラオケは色々な顔を持っていると思わずにはいられません。

カラオケを生涯の学習として据え、あなたを待っている誰かの為に、心身共にお互いの健康を願い続けて行きたいものです。



東村山邦楽友の会

代表 酒井 高子



東村山邦楽友の会は、「多くの方々に気軽に現代邦楽を聴いていただけるような催しを企画していきたい」という思いから、平成 10 年に発足、活動を開始しました。

主に、箏、箏の低音楽器である十七絃、

尺八、三絃を中心とした曲や、さらには笛、琵琶、打楽器などの様々な和楽器をコラボした大編成の曲を演奏しています。演奏曲は、現代邦楽の曲の中から耳なじみの良い曲と、皆さんよくご存じの日本の歌からクラシックまでと幅広いです。

文化のつどい参加の「箏コンサート」、文化祭参加の「箏コンサート」、12 月開催の「ゆらね箏コンサート」、毎年開催しているこの三つのコンサートは恒例となっています。

また、東京だけにとどまらず各地で活動を展開しています。

最近の箏コンサートのプログラム、曲解説、写真、情報等は、文化協会が作成した「東村山邦楽友の会」ホームページを、どうぞご覧ください。

胡桜舞踊会

代表 遠藤 洋子

胡桜舞踊会は平成 10 年 11 月頃から「胡桜舞踊協会」の名前で文化協会のお世話になりながら活動してきました。

その後、胡桜舞踊会に改名、舞台に立てる夢を追って月 2 回の練習に励んでいます。

これからも春の「文化のつどい」と秋の「フェスティバル」に参加できたらと願っています。



練習日・・・毎月 2 回 火曜日午後
入会随時・・・初心者歓迎

連絡先 遠藤洋子 ☎042-393-1622

工藤睦子 ☎090-6042-2327

サクマミサコフラグループ

代表 嶋村みゆき

サクマミサコ先生のもと、初級者から上級者まで、沢山の仲間が本場のフラを学んでいます。

ハワイの文化と歴史に触れ、日常の生活のなかにも、「アロハの心」を大切に感じています。



毎年参加する市民文化祭では、ハワイの優しい風や甘い香りを感じられる、美しくも力強い舞台を心がけ頑張っています。

勝味うどん研究会

代表 小町 勝美

武蔵野の厳しい風土の中で、先人の方々が築いた食文化の一つである“手打ちうどん”作りを後世に残したい！！

そんな想いの中で、いつでも、何処でも、誰もが各家庭にある道具を使って、簡単に手打ちうどん作りが出来るよう実践活動を行い、各種講習会を通して、うどん文化の伝承・継承活動を行なってきました。

しかしながら、最近では諸事情が重なり、残念ながら殆ど活動ができない状況下にあります。でも、気持ちは変わっておりません。“手打ちうどん”に興味・関心をお持ちの方……ご一報下さい。そ



の挑戦に出来る限りお応えしたいと考えております。お待ちしております。

(写真は幼稚園での手打ちうどん教室)

東村山交響楽団

代表 古川 憲

東村山交響楽団は、昭和56年10月に東村山青年会議所が主体となってオーケストラ設立の準備を始め、昭和58年11月に東村山市中央公民館ホールで第1回の定期演奏会を開催、以後市内外近郊ホールにて毎年1回の定期演奏会を中心にして地域に根ざした活動を続けています。

昨年は 2017 こだいら合唱団との共演でルネこだいら大ホールにてメンデルスゾーンの讃歌を演奏、写真にあるように舞台客席と 1000 人以上がホールを埋める中、聴客の皆さんにも好評で貴重な体験をしたと思います。この余韻を大事に今後の演奏会に望みたいと思います。



今年度平成 18 年の第 35 回定期演奏会は、指揮者に昨年のブタペスト国際コンクール 3 位となった新進女性指揮者沖澤のどか氏、バイオリニストに土谷茉莉子氏を迎えての公演です。

オーケストラだけでなく、メンバーで様々なアンサンブルを組み、毎年の市民文化のつどい、議会ミニミニコンサートも定期的に出演しています。

勝 雲 会

代表 遠藤 勝實

- 発足 昭和 55 年
- 会員 老若男女 30 名
- 活動

会員の生涯学習として、能楽の学習及び知識の向上を目指しています。又文化協会の振興に寄与し、地域文化交流



に役立ちたいと考えています。近年は外国人の日本文化学習としてレクチャー、ワークショップなどにも幅広く活動しています。

文化協会事業の“櫻能”公演を引き受け、議会ミニミニコンサートにも出演しています。



東村山製本研究会

代表 鶴田 良平

製本研究会では文庫本、豆本、和綴じ本などを手作りで作っています。会員が創意工夫した見事な本を、春の「市民文化のつどい」と秋の「市民文化祭」で披露させていただいています。

本会は月2回市立中央図書館集会室で例会を行っています。また月1回市立図書館の蔵書の補修も行っており、年に1,000冊以上を補修しています。

その他に小学校での「親子豆本作り教室」や図書館での「製本講習会」を開いて本作りの普及にも力を注いでいます。

「市民文化のつどい」と「市民文化祭」で行っている体験コーナーは豆本やブツ



クカバーができるとあって大人気です。

本会は平成15年5月に発足しました。今年で15周年を迎えます。会員は約30名で、毎回和気あいあいと本作りを楽しんでいます。本作りに興味がおありの方、ぜひお気軽にご入会ください。

越中おわら風の華東村山社中

代表 岩本 導子

富山市八尾・人口2万人余りの飛騨の山に連なる街道筋の坂の町です。この町が、9月1日から3日間で25万人もの観光客を集めて、越中おわら節一色に染まります。「おわら風の盆」と言われる祭りですが、立春から数えて210日に、風神鎮魂を願い五穀豊穰を祈って行われます。地方（じかた）が奏でる哀切に満ちた旋律に導かれ、粋で力強い男踊りやたおやかで艶やかな女踊りの踊り手が町内を踊り歩きます。400年の歴史と伝統に育まれ、叙情豊かで気品高いこの踊りの世界に魅せられ、「越中おわら風の華東村山社中」は遠藤洋子先生の指導の下、



中央公民館で稽古をしております。多くの方々にこの踊りを見て頂きたく、文化協会の舞台や地域で行われる様々な催し等に参加させていただいております。また、毎年八尾に出かけ、本場の踊りも体験しております。昨年は15年の節目を迎えましたが、更に研鑽を積み、より良い踊りのご披露ができますようにと会員一同稽古に励んでおります。

東村山市福寿学苑会

東村山市栄町 2-12-16

代表 村松 誠

042-394-1662

東村山市福寿学苑会は 昭和 49 年 11 月老後を**明るく、楽しく、和やかに**暮らして行くために、魅力ある生涯学習団体として、60 歳以上の市民を対象に結成された自主管理の任意団体です。現在会員数は 100 名弱です。

総会は毎年 4 月に開催し、毎月発行する機関誌作成の編集会議、役員会を経て、全会員参加の定例会を毎月開催しています。



定例会恒例の体操



市民文化の集い



音楽鑑賞会

会費は月額 300 円で、4 月上旬、10 月下旬に分けて半年分を納入しています。年間 3 回の研修バス旅行を日帰りで実施し、費用はその都度参加者から徴収。毎年 5 月「市民文化の集い」、11 月「市民文化祭」への参加をしています。新年会には全会員参加の演芸大会を実施し、講演会やイベントも年 3 回実施、毎月 1~2 回の自主グループ学習を以下の各グループで行っております。



ダンス部

書道部、園芸部、俳句部、コーラス部、ダンス部、カラオケ部、ボーリング部、寺子屋パソコンサークル (TPC)、談話部、ハーモニカクラブ、歩く会、古典を楽しむ会、健康マージャンクラブ等の 13 の部活動を行っています。

必要な会費は別途サークル毎に徴収し、会員メンバーが自主運営し、活発な活動を行っています。

この会に参加希望の方を毎月、募集しております。定例会に見学をどうぞ！



役員研修旅行

人形百花会

代表 大隈 信子

人形百花会は今年で 13 年目になります。現在の会員は 14 名で、月 2 回～3 回中央公民館で賑やかに作品作りを楽しんでおります。

木目込人形と押絵を中心に、お雛様や五月人形をそれぞれに自分の目的にあったものを選んで制作しております。

8 月末頃からは翌年の干支にちなんだ作品作りにとりかかります。

他に手軽に出来る「きめこみパッチワーク」などは、季節の花や風景をモチーフにしているので額や色紙掛けにします。

作品は毎年 5 月の「文化のつどい」と秋の「市民文化祭」に参加して展示して



います。

「文化のつどい」では、「体験コーナー」を設け、短時間で完成できる可愛い小物などの作り方を体験できます。会員みんなまで完成までお手伝いしますので、喜んでいただいております。

展示会では、作品を見ていただける喜びがありますが、なつかしい出会いや新しい出会いなどがあり楽しみです。

菊の会東村山グループ

代表 大川 慶子

私達、菊の会東村山グループではこれまで主だった独自の活動が出来ておりませんでした。昨年夏に一般社団法人 日本のおどり文化協会様よりご依頼頂き、文化庁の「伝統文化親子教室」の助成事業で、市内の小・中・高校生を対象としたカルチャーサークルを開校させて頂きました。

下は 4 歳から上は小学校高学年までの 15 名の子供たちに参加をして頂き、8 月には支部発表会として東村山市立中央公民館のホールでまた、合同発表会では浅草公会堂にて踊りを披露させて頂きました。今まで日本舞踊に触れたことなか



った子供たちがたった 10 回の稽古で元氣一杯舞台に立つ姿に感動の連続でした。

その後も引き続きお稽古をしたいとのご要望を頂き、現在 10 名のお子様隔週水曜日に中央公民館の視聴覚室でお稽古をさせて頂いております。

これからも日本の伝統文化を伝え広めるため、頑張っ参ります。

写真は 菊の会 東村山カルチャーサークル発表会より

押し花アート・しなの木会

代表 吉越あや子

しなの木会は、平成 13 年に 6 名で、本町のシルバーピア会場で発足しました。

東村山市内を散歩の途中、いつも歩き慣れている道端にふと見つけた季節の花や小さな雑草。また野や山に足をのぼしたとき出会った名も知らずにいた花。花屋さん巡りをすると、各地より集まる花が彩り豊かに並んでいます。またベランダで鉢やプランターで花を育て、開花して間もない花をおし花にしてお部屋に季節感やほっと心なごませる、風影・コラージュ・アレンジメントをおし花絵作り、仲間と楽しみ家族やお友達に、喜んで



らっています。

これからもデザインの工夫、基本の花をおす作業も毎回毎回勉強になり、作品を生み出す力を色々な場面に目をむけて行きたいと思います。

春の文化のつどい、秋の市民文化祭に毎年出展しています。

東村山市写真連盟

代表 横井 時信

当連盟は、平成 22 年 11 月に発足し、平成 29 年末、第一期を終了しました。当連盟の活動の趣旨は、写真表現を通して地元や地域を支援してゆくことにあります。このため、所属する会員や団体は、自らテーマを設定して文献調査等を行い、その想いを作品に具体化することができます。作品の発表の場としては、当初からインターネット上に「ギャラリー東村山」を創設しており、テーマに沿う作品群を自由に構成して、テーマ別にサブドメイン上に独立して公開しています。

当ギャラリーでは、撮影地域を地元周辺とその他地域に分け、現在、395 テー



マの作品を「特別展示室」に常設展示しています。掲載する作品には公開画像の標準仕様が制定され、また、作品の掲載ルールや著作権管理等についても明確に規定が設けられています。作品はどなたでも自由に閲覧できますので、「東村山市写真連盟」をキーワードに検索してみてください。アートの作品も多数あり、楽しく観ることができます。

東村山香を楽しむ会

代表 栗原千枝子

会は5年程前に発足。市民の皆様にご紹介する場として、文化のつどい、市民文化祭に参加させて頂いております。さて本誌をお借りして少し香りの歴史をまとめてみました。

今からおよそ1400年前、朝鮮半島百済の国から聖明王の使いにより仏教が伝来、538年頃と言われています。仏教とは仏、法、僧のことです。又「日本書紀」推古天皇3年の記述に淡路島に沈水香が漂着…とあります。この二つの出来事がわが国に香が伝わった事実を証しています。そして奈良の都は仏教が栄え^{そなえこころ}供香としての香のかおりに満ち満ちていたと言

われています。又753年、中国揚州より鑑真和上来朝、奈良唐招提

寺を創建、唐の文化がもたらされました。なかでも薬香=薫物=練香が伝えられ、それによって源氏物語、枕草子等の女流文学の描写等に見られる様に、平安貴族独自の香りの世界が展けたのです。

やがて武士の時代になると共に香りも変化し室町時代には茶、花、香と日本の三大芸能が誕生します。

長い歴史のほんの一時、妙なる香りに感謝し、会員と共に勉強しております。お仲間が増えるとうれしいです。



鮭っ子とトトロの会

代表 川上 隆之

当会は、平成23年に山形県鮭川村との交流を推進することを目的に設立しました。団体名の由来は、鮭川に遡上する「鮭」。同村にある「小杉の大杉」がアニメーション映画「となりのトトロ」に出てくるトトロの形に似ていることや同映画が市の八国山をモチーフにしている等、非常につながりがあり「鮭っ子とトトロの会」としました。

交流事業として、産業まつりに同村ブースを設け、物産販売、特産物の「なめこの掴み取り」も大好評を得ています。また市民文化祭では歴史と伝統ある「鮭川歌舞伎」の披露も行われており、当市との交流が年々深まっております。

なお、鮭川村には羽根沢温泉があり、東村山市の保養施設（国保）の一つとして指定され、助成制度もあります。



トトロの木「小杉の大杉」

鮭川歌舞伎の「白波五人男」

産業祭の鮭川村のブース

グランジュテ舞踊研究所

代表 福原 あこ



グランジュテ舞踊研究所は、最初「あさがお舞踊団」として活動していましたが、何せ一人活動なので名前を改めグランジュテになりました。日舞、洋舞、色々なジャンルの音楽に合わせ、創作舞踊として7年前より市民文化祭に参加させて

頂いています。

初舞台は 77 歳の方とマイケル・ジャクソンの曲を和服で踊らせて頂きました。そのつど一人踊りの時があれば仲間を集っての参加、歌も唄ったり。

文化が盛える所、平和になると聞いた事があります。踊りを通し、皆様に喜びと希望をプレゼントし、平和貢献のお手伝いになれば、何よりもしあわせな事です。

これからも、色々な作品を作りあげて参ります。

東村山市文化協会 40 周年、心よりお祝い申し上げます。

グリーンリーヴズ (平成6年11月結成のコーラスグループ)

代表 石黒由美子

名前の由来

青葉町で「知っている歌を、楽しく歌いたい」と三人で結成。今でもその思いは受け継がれ 25 周年を迎えます。

最初の曲は「百万本のバラ」。

レパートリーは童謡、抒情歌、歌謡曲、合唱曲と幅広いですが、丁寧に歌い、自分たちが楽しめる事をモットーとしています。

市民文化祭 (秋のフェスティバル) 平成 11 年から連続 18 年参加

記念コンサート<恩多ふれあいセンターで多くの地域の皆様と共に>

10 周年 (平成 17 年) 15 周年 (平成 21 年) 20 周年 (平成 25 年)

25 周年 (平成 31 年 3 月予定) に向け準備しています。



会員募集

練習日 毎月第 1.2.3.火曜日 (中央公民館) 19 時~21 時

ハーモニーメイツひまわり

代表 花田 安功



演歌の帝王佐藤昭先生により昭和 58 年 7 月 1 日発足し、平成 25 年からハーモニカ協会理事の島崎忠先生に、複音ハーモニカで童謡・唱歌・演歌の独奏と合奏を月 2 回公民館で指導を受けています。

皆様も小さなオーケストラといわれている複音ハーモニカをやってみませんか。

会員募集中です。

文化のつどいには、平成 25 年から出演しています。

エベレスト合唱団

代表 木津 雄造

エベレスト合唱団は、平成 13 年 4 月に、歌うことが好きな皆さんが集まって結成されました。初めのころは 10 人ほどの参加で、ピアノの伴奏をする人もいませんでした。やがて現在のピアノ伴奏を担当してくださる方がメンバーに加わり、少しずつ合唱経験のあるメンバーも増えて、『生きることの喜びを歌に託し、人生の最高峰をめざして成長し続けよう…』との思いから、現在の「エベレスト合唱団」の団名となりました。

変則勤務をやりくりして練習に駆けつけたり、つつい歌声が地声になったり、年齢を重ねて車椅子でステージに上がるメンバーも、みんなで声を合わせて歌う



ことが大好きな合唱団です。

主な活動について紹介します。平成 18 年から毎年春と秋の市民文化祭で演奏しています。また、地域のさくら祭り、長寿を祝う会などにも参加させて頂きました。年 2 回ほど白十字ホームへボランティア演奏にもうかがっています。これからも地域で、歌う喜びが広がる事を願い、歌い続けてまいります。

楽描きクラブ

代表 保坂 宏

私達「楽描きクラブ」は色鉛筆画の教室です。誰でも一度は握ったことのある色鉛筆は、これを使う者の癒しになり、又、これを使って描かれた画を観る者に優しさと懐かしさを伴う感動を与えます。

私が色鉛筆画を始めるきっかけになったのは、50年ほど前のことです。当時私の父はアルツハイマーで一日中ベッドに在り、表情も変化が無かったのですが、偶々目の前で描いた色鉛筆での画を見た父の表情に笑みが浮かんだことに感動し、色鉛筆画には人の心を安らげる魅力があることに気付きました。

それに力を得て全くの独学で技法を習



得、念願の都内での個展を皮切りに同志8名で「楽描きクラブ」を結成しました。

現在恩多ふれあい教室と中央公民館教室で40名近くの生徒さん達と文字通りの「楽しく描く」をモットーに色鉛筆画を描いています。

又、小学校土曜子供教室や老人ホームぬり絵指導等を実施、文化協会の一員として頑張っております。

アロハ・フラ・アーヌエヌエ

代表 醍醐 暁美

アロハ（人類愛）を
皆様にお届けします



アロハは、人間の心と心を結び、平和の喜びを表現するダンスです。

ウキウキするような、ほっと癒されるようなハワイアンソングにあわせて踊るフラダンス。初心者の方も大歓迎です。一緒に楽しく踊りましょう！！

毎年11月に、ルネ小平で行われるフェスティバルに出場し、他の活動ではボランティアを中心に動いております。

アルジロー

代表 仲 晃平

ギターが大好きな2人でのギター・デュオです。6年前まで、同じマンドリンサークルでギター伴奏をしていましたが、伴奏だけでは何となく物足りなく、ギター二重奏の譜面を見つけては、二人で練習をしていました。

結局、マンドリンサークルを辞めさせていただき、ギター・デュオ「アルジロー」を結成しました。

当初は、仲間の絵の展示会場にお邪魔し、演奏したのですが、歌い手さんとともに、ホームなどの慰問演奏や、昨年の春には、ギターの仲間と小さな演奏会を開催するまでになりました。



私たちは、ギターを生涯の友と思っています。

何時でも、身近にあって、優しい音色で私たちの心を癒してくれます。

でも、時々言う事をきいてくれませんが、そんな時、何とかしようとムキになってもうまくいかないものです。

だから、魅力があり、これからも長く付き合いたいと思っています。

K ダンススタジオ

代表 中村けいこ

K ダンススタジオは、ジャズダンス、モダンダンスを中心としたダンス教室です。地域の皆様の応援、お力添えのおかげで今年は15周年を迎えることができました。6月9日(土)には15周年記念公演を行う予定です。

K ダンススタジオ公演は2年に一度開催して参りました。毎回300名以上のお客様にお越しいただき、大変ありがたく思っております。

文化協会の会員となり4年目になりますが、今後も東村山に根ざした活動を続けて、微力ながら文化の発展、



活性化に貢献したいと考えております。

当スタジオのレッスンは、ゆっくりストレッチから始め丁寧な指導を行っておりますので、初心者の方も楽しくレッスンを受けることができます。子どもには、踊る事の楽しさを感じてもらおう中で、挨拶や掃除などもしっかり教え、礼節を重んじた指導を心がけています。ダンスに興味がある方はどなたでも大歓迎です。

お待ちしております♪

張良二胡楽団

代表 高橋 絵美

中国河南省出身、東村山市在住の二胡奏者、張良（チョウリョウ）を中心に活動する二胡楽団です。学生の方から 90 代の方まで、幅広い年齢層の二胡愛好家が所属しています。

二胡は、二本の弦の間に弓を通して弾く中国古来の弦楽器で、「東洋のバイオリン」と称されるその音色は、哀愁漂う深い味わいです。

私たちは個々の演奏技術向上を目指しながら、各地のイベントなどに積極的に参加し、人前で弾くことの楽しさや難しさを共有すると同時に、二胡の魅力を多くの方に知っていただくために活動して



います。

琵琶や揚琴（ようきん）など、他の演奏者とも共演する中で、「癒された」

「元気になった」「ワクワクした」というお声をいただくことが、一同の励みです。

活動を通して人と人とのつながりを広げ、また深め、音楽による異文化交流の発展にも貢献して参りたいと思います。

白芽会(はくがかい)

代表 花柳 昌里
花柳 里佳泉

日本舞踊 白芽会は、花柳昌里により昭和 32 年に発足し、昭和 42 年に第 1 回の舞踊会を開催致しました。東村山では平成 6 年より活動開始、現在は花柳昌里・里佳泉の両名にて指導、普及活動をしております。

日本舞踊という伝統文化を楽しく、正しく『伝承』し、お子様にはお行儀・礼儀から、年配の方には健康のためにとお稽古して参りたいと思っております。

その他、(社)日本舞踊協会主催舞踊会、花柳昌太郎師主催舞踊会等に出演。また、オリンピックに向けての事業として、新



宿区の小学校ではワークショップの講師として携わっており、伝えていくことの大切さを痛感しております。この東村山の地でも子供から大人の多くの方々に日本舞踊を楽しく、正しくお伝えしていきたいと思っております。

いつでもお稽古見学・体験、大歓迎です。

有山光子東村山ハワイアンフラグループ

代表 樋口 京子

「明るく、楽しく、美しく」をモットーに「ハワイアンフラ」を始めてみませんか？の呼びかけから早 27 年目を迎えました。当時は東村山にフラサークルは無く、6 年間は私共の教室だけでした。毎



木曜日の午前中、A、Bに分れ、満杯の状態でしたが、フラの楽しさにひかれ本当に仲良くレッスンに励んでおりました。当時はハワイは夢の国で、音楽と写真だ

けを頼りに思い描いておりましたね。お蔭様で、各公民館や集会所、北区や狭山市の方々も参加され、増々賑やかになりました。「フラ」は手の動きや躰の動きで内容を表現するのですが、おだやかでゆとりのある動きはお年寄からお子さん迄、どなたでも楽しく踊れる健康法です。指導者と先輩の受講生の方々が詩の内容を良く説明し、皆さんが納得いく迄お教えしております。「文化祭」を含め、今年の五月には50回目の発表(5/26)になりますが、皆様も是非御一緒に楽しく踊りませんか？ 大歓迎でお待ちしております。

393-1750(樋口) 393-2914(有山)

東村山昔話保存会

代表 両澤 清

東村山昔話保存会は過去いくつかの変遷をたどって現在に至っている。

最初は「八国山たいけんの里」ができた時に、はっちこっくメイト（ボランティア）として昔語りをしていた。

たいけんの里以外に自分たちの責任で他の施設等へ出かけて語りをするときには「東村山ふるさと昔語りの会」と名乗って活動していた。

平成 27 年 6 月 10 日東村山ふるさと歴史館において、総会を開き、「東村山昔語りの会」と名乗り、独立して現在に至っている。



平成 29 年 4 月からは「東村山昔話保存会」と名称を改め「東村山昔語りの会」は通称として用いられている。

現在、会員は 23 名、東村山の昔話の語り部として学校や老人施設などへ出向いて活動している。

写真「老人福祉施設誕生日の語り風景」